

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年1月26日

上場取引所 大

上場会社名 FCM株式会社

コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市居 律雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 川森 晋治

TEL 06-6975-1324

四半期報告書提出予定日 平成22年2月9日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	10,041	△38.1	395	4.7	447	30.3	299	45.7
21年3月期第3四半期	16,221	—	377	—	343	—	205	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	175.90	—
21年3月期第3四半期	120.72	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
22年3月期第3四半期	9,779		3,205		32.8	1,880.76
21年3月期	7,687		2,920		38.0	1,713.91

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 3,205百万円 21年3月期 2,920百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	31.00	—	0.00	31.00
22年3月期	—	10.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	45.00	55.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,600	△24.9	446	192.0	516	291.2	310	368.2	181.91

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	1,704,267株	21年3月期	1,704,267株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	108株	21年3月期	108株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	1,704,159株	21年3月期第3四半期	1,704,161株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におきましては、世界的な景気低迷が続く中、各国政府の経済対策やアジアを中心とした海外経済の持ち直しにより、日本経済にも徐々に回復の兆しが見られ始めました。一方で、設備投資の削減、雇用環境の悪化や個人消費の低迷などで内需の回復は遅れており、景気の先行き不透明感を払拭するまでには至っておりません。このような経済情勢に加え、円高により物作りの海外シフトが加速しておりますが、当社は国内での物作りにこだわり、収益力の向上に取り組んでまいりました。

電子機能材事業では、生産の回復期に納期やコスト対応など顧客ニーズにいち早く応えることで受注を獲得し、あわせて社内の生産性向上で利益確保を図っております。

また、電気機能線材事業では既存の業界にとらわれず、よりニッチな分野への製品開発に注力し、さらに受注の掘り起こしとコストの削減に努めております。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は売上高10,041百万円（前年同期比38.1%減）、加工売上高2,547百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益395百万円（前年同期比4.7%増）、経常利益447百万円（前年同期比30.3%増）、四半期純利益299百万円（前年同期比45.7%増）となりました。

売上高 前年同期比較

単位：百万円

	平成22年3月期 第3四半期		平成21年3月期 第3四半期		前年同期比較	
	売上高	構成比 %	売上高	構成比 %	増減額	増減率 %
電子機能材事業	3,773	37.6	3,603	22.2	169	4.7
電気機能線材事業	6,268	62.4	12,617	77.8	△6,349	△50.3
合計	10,041	100.0	16,221	100.0	△6,179	△38.1

加工売上高 前年同期比較

単位：百万円

	平成22年3月期 第3四半期		平成21年3月期 第3四半期		前年同期比較	
	加工売上高	構成比 %	加工売上高	構成比 %	増減額	増減率 %
電子機能材事業	2,021	79.3	1,898	70.0	123	6.5
電気機能線材事業	526	20.7	812	30.0	△286	△35.3
合計	2,547	100.0	2,710	100.0	△163	△6.0

(注) 当社では、売上高から材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

総資産は9,779百万円となり、前期末に比べ2,091百万円増加しました。これは、前第4四半期に比して主に銅相場の上昇及び受注回復に伴う売上の増加による受取手形及び売掛金の増加1,404百万円によるものです。負債合計は6,574百万円となり、前期末に比べ1,807百万円増加しました。これは、主に売上の増加に伴う買掛金の増加1,774百万円によるものです。

株主資本は3,206百万円となり、前期末に比べ282百万円増加しました。これは、当第3四半期の利益を反映したものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,063百万円の収入となりました。これは、主に税引前四半期純利益446百万円及び減価償却費371百万円によるものの他に、当第3四半期末が金融機関の休日のため、支払決済が1月にずれたことによる673百万円の支払減少による増加が含まれます。投資活動に使用された支出は437百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出438百万円によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは第1四半期に設備資金として長期借入金240百万円を調達しておりますが当第2・第3四半期において長期借入金の返済及び社債を償還したため57百万円の支出となりました。

以上の結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて568百万円増加し、1,097百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

全部門に於いて、生産性向上に寄与する項目の細部にいたるまでの徹底的な洗い出しと実施、受注確保の為のコストの見直しと高付加価値品の受注率アップに取り組んできた結果、当初の見込みを上回るペースで業績の改善が進んでまいりました。

その結果、平成21年9月9日に公表した通期における業績予想を上回る見込みとなりましたので上方修正することといたします。詳細につきましては、本日付で別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」及び「平成22年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,097,631	529,397
受取手形及び売掛金	3,861,047	2,456,876
仕掛品	229,415	126,567
原材料及び貯蔵品	233,915	235,949
繰延税金資産	34,050	7,961
その他	48,896	113,326
貸倒引当金	△1,669	△1,062
流動資産合計	5,503,287	3,469,017
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	※ 904,604	※ 963,720
機械及び装置（純額）	※ 1,171,499	※ 1,079,186
土地	1,678,923	1,678,923
建設仮勘定	90,933	32,609
その他（純額）	※ 197,706	※ 212,881
有形固定資産合計	4,043,667	3,967,321
無形固定資産	46,036	54,738
投資その他の資産		
投資有価証券	21,109	17,523
繰延税金資産	150,453	163,189
その他	21,254	24,659
貸倒引当金	△6,238	△8,561
投資その他の資産合計	186,578	196,810
固定資産合計	4,276,282	4,218,870
資産合計	9,779,570	7,687,888

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,714,087	939,974
1年内返済予定の長期借入金	798,000	800,000
1年内償還予定の社債	150,000	150,000
未払法人税等	148,642	—
その他	228,747	284,418
流動負債合計	4,039,477	2,174,392
固定負債		
社債	175,000	250,000
長期借入金	1,978,000	1,925,000
長期末払金	28,406	32,464
退職給付引当金	222,504	201,848
役員退職慰労引当金	83,643	123,783
その他	47,422	59,616
固定負債合計	2,534,976	2,592,712
負債合計	6,574,453	4,767,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	1,691,844	1,409,121
自己株式	△369	△369
株主資本合計	3,206,095	2,923,372
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△978	△2,589
評価・換算差額等合計	△978	△2,589
純資産合計	3,205,116	2,920,783
負債純資産合計	9,779,570	7,687,888

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	16,221,430	10,041,802
売上原価	14,924,082	8,707,014
売上総利益	1,297,348	1,334,787
販売費及び一般管理費	※ 919,725	※ 939,470
営業利益	377,622	395,316
営業外収益		
受取利息	39	496
受取配当金	999	733
助成金収入	—	72,738
スクラップ売却益	2,676	1,953
その他	1,496	4,631
営業外収益合計	5,212	80,554
営業外費用		
支払利息	37,181	26,841
その他	1,992	1,147
営業外費用合計	39,174	27,989
経常利益	343,660	447,881
特別利益		
固定資産売却益	—	356
貸倒引当金戻入額	—	411
特別利益合計	—	767
特別損失		
固定資産売却損	—	1,515
固定資産除却損	1,205	271
投資有価証券評価損	6,287	—
特別損失合計	7,492	1,786
税引前四半期純利益	336,168	446,862
法人税、住民税及び事業税	115,556	161,525
法人税等調整額	14,879	△14,427
法人税等合計	130,436	147,098
四半期純利益	205,732	299,763

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	3,941,278	3,744,115
売上原価	3,572,877	3,255,907
売上総利益	368,401	488,208
販売費及び一般管理費	* 297,877	* 323,828
営業利益	70,524	164,380
営業外収益		
受取利息	10	191
受取配当金	233	216
助成金収入	—	20,478
スクラップ売却益	21	388
その他	521	540
営業外収益合計	787	21,815
営業外費用		
支払利息	11,954	8,425
その他	542	180
営業外費用合計	12,497	8,606
経常利益	58,814	177,589
特別利益		
固定資産売却益	—	356
貸倒引当金戻入額	—	411
特別利益合計	—	767
特別損失		
固定資産売却損	—	1,515
固定資産除却損	35	271
投資有価証券評価損	6,287	—
特別損失合計	6,322	1,786
税引前四半期純利益	52,491	176,570
法人税、住民税及び事業税	13,460	54,379
法人税等調整額	5,236	△1,999
法人税等合計	18,697	52,380
四半期純利益	33,794	124,189

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	336,168	446,862
減価償却費	349,935	371,790
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△7,770	△40,139
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13,417	20,656
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△1,715
受取利息及び受取配当金	△1,039	△1,230
投資有価証券評価損益 (△は益)	6,287	—
支払利息	37,181	26,841
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	1,159
固定資産除却損	1,205	271
売上債権の増減額 (△は増加)	1,779,018	△1,404,170
たな卸資産の増減額 (△は増加)	264,840	△100,813
仕入債務の増減額 (△は減少)	△980,825	1,774,113
その他	△23,769	△53,566
小計	1,774,649	1,040,057
利息及び配当金の受取額	1,039	1,160
利息の支払額	△28,762	△22,523
法人税等の支払額	△340,237	△19,233
法人税等の還付額	—	64,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,406,690	1,063,558
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△925	△901
有形固定資産の取得による支出	△213,817	△438,070
有形固定資産の売却による収入	—	743
無形固定資産の取得による支出	△400	—
その他	792	264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214,350	△437,963
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△310,000	—
長期借入れによる収入	—	240,000
長期借入金の返済による支出	△147,497	△189,000
長期未払金の返済による支出	△4,058	△4,058
社債の償還による支出	△75,000	△75,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△12,194
自己株式の取得による支出	△98	—
配当金の支払額	△131,139	△17,109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△667,793	△57,361
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	524,545	568,233
現金及び現金同等物の期首残高	284,296	529,397
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 808,842	※ 1,097,631

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。